

当院を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	多発性骨髄腫治療薬(抗 CD38 モノクローナル抗体薬)による偽陽性反応に対する不規則抗体検査用赤血球試薬の DTT 処理の検討
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	((担当科) 輸血部 (職名) 副技師長 (氏名) 片井 明子
試料・情報の利用目的 及び利用方法	〔利用目的〕 本研究は、抗 CD38 抗体薬使用患者さんにおける不規則抗体検査の結果が正確かつ迅速に行う事ができる DTT 処理操作を確立する事が目的です。 〔対象となる患者さん〕 研究実施承認日から 2023 年 12 月までに CD38 抗体治療薬を使用し、かつ不規則抗体検査が提出された患者さん。 〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2024 年 3 月 31 日 〔利用方法〕 診療等に伴い採取された試料の余剰分を使用し、赤血球試薬へ各条件に従い DTT 処理操作を実施し、赤血球試薬の抗原性および患者の不規則抗体検査を行い比較検討します。 〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 【なし】
利用又は提供する試料・情報の項目	試料：不規則抗体検査残余検体 情報：診療情報(多発性骨髄腫治療薬投与情報、診断名など)および血算等検査データ等
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	【非該当】
提供する試料・情報の取得の方法	【非該当】
提供する試料・情報を用いる研究に係る	【非該当】

研究機関名・研究責任者名	
利用する者の範囲	【非該当】
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年2月28日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 輸血部 担当者：副技師長（氏名）片井 明子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 36212）